
彼の生き様

紅コ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼の生き様

【Nコード】

N2102I

【作者名】

紅コ

【あらすじ】

何でも「いいよ。」と言う男の生き方。

その生き方を通して周りの人間が各々何か感じとっていく話です。

（前書き）

人それぞれの生き方があります。

この話を読んでこんなの有り得ないと思う人もいるでしょう。

あくまで何通りもある生き方のうちの一つですので、自分の生き方の参考程度で読んでいただくと有り難いです。

ある夫婦の間に元気な男の子が生まれた。

男の子はすくすく育ちました。

小学生になった男の子は同級生の友達に鞆を持って頼まれました。男の子は「いいよ。」といい友達の鞆を持ちました。毎日毎日鞆を持ってと言われても毎日毎日男の子は「いいよ。」といい鞆を持ち続けました。

はたから見るといじめに見える光景ですが彼は友達に対して不満など無いかつたし、だからこそ一度として文句は言いませんでした。彼は決して意志の無い子ではありませんでしたが、お願いされると絶対に「いいよ。」と答えていました。

少しすると男の子は中学生になりました。

ある日、小学校のときからの友達が言いました。「前から思ってたんだけど、俺昔お前に鞆を持たせたりしてたけど俺のこと恨んで無いか。俺と友達でいてくれるか。」

男の子は「いいよ。」と答えました。

友達はそのを聞いて気持ちが軽くなり「ありがとう……」と言いました。

男の子は高校に入ると小中高ずっと同じの女の子に告白され、彼は「いいよ。」と返事しました。

2人は結婚し、子供も生まれ幸せに暮らしていました。

彼は相変わらずお願いや頼み事を「いいよ。」と全部引き受けていました。

娘はそんな父親に対してお人好し、優柔不断などの思いを抱いてい

ましたが嫌いにはなれませんでした。

男が52歳のとき過労死で突然亡くなりました。仕事が大変だった訳ではなく、みんなの願いや頼み事を一生懸命こなしてきてこうなっていました。

最期まで彼は文句一つ言いませんでした。

母と娘は涙を流し男の死を受け入れました。

母はお通夜とお葬式の連絡を始めました。娘は考えていました。何故父は文句も言わず何もかも引き受けて来たんだろう…。何か弱みでも握られていたのだろうか。もしくは、本当に優柔不断で断ることが出来なかったのか。

…みんなは父をいのように使って殺したんだ。酷い。あんまりだ。彼女はだんだん悲しみから怒りの感情でいっぱいになりました。

我慢仕切れずにお通夜の準備をしている母親のもとへ行き「お父さんに頼み事をしてきた人達のせいでお父さんは死んだのよ。きつとその人達はお父さんの人の良さにつけ込んだのよ。酷い。お父さんは何も悪いことなんかしてないのに…。」

母親は「お父さんの周りにそんな酷い人はいないわ。誰も悪くないの。」娘は悔しくなつて部屋に閉じこもり泣き出しました。

数時間後お通夜が始まり、母は娘を呼びに行きましたが娘は行きたく無いと言いました。

すると母は「あなたが来ないと何もそこから変わらないわよ。わからないことがあるなら確かめなさい。あなたのお父さんがどれだけ凄い人なのかその目で見なさい。」

母の言葉で娘はやつとお通夜にでる事にした。

彼女が部屋に入るとそこにはたくさんの人がいて目を疑った。

あらゆる年代の人々がいるではないか。家に入りきれず家の外にも

列が並んでいた。

みんな涙を流し、口々に「ありがとう。」と呟いていた。

母は「お父さんは私から見てもお人好しだと思った。お父さんはね、人の笑顔が好きだから頼み事とか引き受けてたのよ。お父さんは誰かのために何か出来ることを喜んでいたわ。たとえそれが自分の得にならなくてもね。胸を張って言えるわ。それがあの人の生き方…。」

「
そう言う母の横顔は微笑んでいた。

娘はやつと理解した。私の父は自分の思いを貫いて生きたんだ。

涙が止まらなかった。

娘の横で母は「いつもあなたは誰かのために何かして忙しいそうだった。でも今日はみんながあなたのために涙を流してくれてる。」
そして心の中でこういった。

「…そんなみんなに好かれて優しい人を私は愛してます。」

（後書き）

人間は好きじゃないとずっとは何かを続けていけないと思うので、皆さんにも何か生き甲斐あるものを見つけて頂きたいです。読んでいただき本当にありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2102i/>

彼の生き様

2010年12月19日14時10分発行